科目名称	小児看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		第２学年前期	1	30
担当教員	土居　泰子	授業に関わる実務経験	■ 有（　看護師　） □ 無	

【1】 授業概要

時代の変化に伴い、小児をとりまく環境・小児看護も変化している。小児看護の変遷を知り、現代の小児看護の役割を理解する。また、小児看護の対象となる小児と家族を理解し、小児の健全な成長発達を支援するために、小児の正常な成長発達の特徴を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 小児と小児を取り巻く環境を理解できる。
2. 小児看護の変遷を知り看護の役割を理解できる。
3. 小児期の特徴と各期の成長発達について理解できる。
4. 小児を保護する法律や保健対策を理解できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
□ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児看護の変遷・小児看護の役割	講義
2	小児看護の対象（小児・家族）	講義・演習
3	子どもの成長発達	講義・演習
4	新生児期の特徴と生活援助①	講義
5	新生児期の特徴と生活援助②	講義
6	乳児期の特徴と生活援助①	講義
7	乳児期の特徴と生活援助②	講義
8	幼児期の特徴と生活援助①	講義
9	幼児期の特徴と生活援助②	講義
10	学童期・思春期の特徴と生活援助	講義
11	小児と小児を取り巻く環境	講義
12	小児をめぐる法律と政策①	講義
13	小児をめぐる法律と政策②	演習
14	小児をめぐる法律と政策③	演習
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験（80％）、演習の参加状況（20％）によって評価する。

【6】 教科書

奈良間美保：系統看護学講座　専門分野　小児看護学　1　小児看護学概論　小児臨床看護総論（第 14 版）医学書院 2022 （電子版）

【7】 参考書

二宮啓子：小児看護学概論（第３版）南江堂　2017

【8】 受講生へのメッセージ

みなさんは、子どもに対して、どのような印象を持っていますか。子どもは、さまざまな力・発達をしています。自分の子どもの頃を振り返りながら、子どもの魅力を再発見してみませんか。